

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年5月12日
【四半期会計期間】	第16期第2四半期（自平成29年1月1日至平成29年3月31日）
【会社名】	株式会社フィックスターズ
【英訳名】	Fixstars Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 三木 聡
【本店の所在の場所】	東京都品川区大崎1丁目11番1号
【電話番号】	03-6420-0751
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 堀 美奈子
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区大崎1丁目11番1号
【電話番号】	03-6420-0751
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 堀 美奈子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第2四半期連結 累計期間	第16期 第2四半期連結 累計期間	第15期
会計期間	自平成27年10月1日 至平成28年3月31日	自平成28年10月1日 至平成29年3月31日	自平成27年10月1日 至平成28年9月30日
売上高 (千円)	2,081,442	2,123,078	4,063,786
経常利益 (千円)	397,546	360,402	707,957
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	270,578	258,461	516,184
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	264,783	309,272	517,130
純資産額 (千円)	1,915,239	2,321,695	2,167,586
総資産額 (千円)	2,373,975	2,676,175	2,604,283
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	40.76	38.51	77.33
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	40.00	38.42	76.52
自己資本比率 (%)	80.5	86.6	83.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	51,053	131,322	311,063
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	9,249	26,201	16,098
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	180,847	164,664	211,190
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	985,331	1,147,937	1,198,653

回次	第15期 第2四半期連結 会計期間	第16期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成28年1月1日 至平成28年3月31日	自平成29年1月1日 至平成29年3月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	21.31	27.89

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、一部に改善の遅れもみられるものの、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ緩やかな回復基調で推移いたしました。また、海外経済につきましても、中国をはじめとする新興国経済の先行きやアメリカの今後の政策等に関する不確実性の影響については留意する必要があるものの、引き続き緩やかに回復いたしました。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、お客様の高速処理のパートナー企業として、従来からのマルチコア向けソフトウェア開発サービスに加えて、ストレージ関連ソフトウェア開発サービスの2つを当社の事業の柱として、併せて関連するミドルウェア及びハードウェアの販売を展開しております。

主力のソフトウェア・サービス事業では、マルチコア向けソフトウェア開発サービスにおいて、自動車分野で注目されている先進運転支援システムや自動運転関連を対象としたアルゴリズム開発や高速化案件、医療機器やファクトリーオートメーション向けの組込みソフトウェア案件及び金融分野やディープラーニングを対象とした高速化案件等を中心に継続的に受注しております。また、ストレージ関連ソフトウェア開発サービスにおいては、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が継続しております。

当社グループが開発したソフトウェア等が稼働するハードウェア基盤を開発、提供するハードウェア基盤事業では、画像処理プロセッサ搭載演算ボード等の量産納入を中心に、引き続き安定して受注しております。また、次期重点戦略事業と位置づけている大容量高速ストレージ・サーバ事業においては、広告宣伝等の販売促進及び産業分野等の特定分野における導入に向けた開発に取り組んでおります。

海外事業では、米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、北米地域における大容量高速ストレージ・サーバの販売拡大及び研究機関等を対象とした高速化案件の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、2,123,078千円（前年同期比2.0%増）、営業利益382,905千円（前年同期比3.5%減）、経常利益360,402千円（前年同期比9.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益258,461千円（前年同期比4.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

#### ソフトウェア・サービス

ストレージ関連ソフトウェア開発サービスを中心とした旺盛な引き合いがある一方で、昨今のエンジニア需給ひっ迫を受け社員数が伸び悩むなか、機械学習等を用いた新たなビジネス形態の推進に注力いたしました。

この結果、売上高は、1,508,298千円（前年同期比2.2%減）、セグメント利益（営業利益）は、307,974千円（前年同期比16.3%減）となりました。

#### ハードウェア基盤

画像処理プロセッサ搭載演算ボード等の量産納入が、海外を中心とする顧客製品の旺盛な需要に支えられ伸長し、また、大容量高速ストレージ・サーバ事業の販売促進及び特定分野における導入に向けた開発に取り組みました。

この結果、売上高は、614,780千円（前年同期比14.2%増）、セグメント利益（営業利益）は、74,930千円（前年同期比161.1%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて71,891千円増加し、2,676,175千円となりました。これは、売掛金が26,460千円、電子記録債権が88,274千円増加した一方で、現金及び預金が50,715千円、商品及び製品が27,278千円、原材料が26,193千円減少したこと等が主な要因であります。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて82,216千円減少し、354,479千円となりました。これは、賞与引当金が29,202千円、1年内償還予定の社債が10,000千円減少したこと等が主な要因であります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて154,108千円増加し、2,321,695千円となりました。これは、利益剰余金が104,085千円、その他有価証券評価差額金が36,398千円、為替換算調整勘定が14,188千円増加したこと等が主な要因であります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ50,715千円減少し、1,147,937千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は131,322千円(前年同期比157.2%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益(357,653千円)、賞与引当金の減少(29,202千円)、売上債権の増加(113,141千円)、たな卸資産の減少(38,516千円)、未払金の減少(10,821千円)、法人税等の支払(95,417千円)によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は26,201千円(前年同期比183.3%増)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出(16,401千円)及び無形固定資産の取得による支出(9,799千円)によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は164,664千円(前年同期比8.9%減)となりました。これは主に、社債の償還による支出(10,000千円)及び配当金の支払(153,912千円)によるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における、当社グループ全体の研究開発費の総額は、75,341千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成29年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成29年5月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,712,000	6,712,000	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	6,712,000	6,712,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成29年5月1日から本報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成29年1月1日～ 平成29年3月31日	-	6,712,000	-	549,968	-	455,968

(6)【大株主の状況】

平成29年3月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
長谷川 智彦	東京都港区	819	12.20
三木 聡	横浜市神奈川区	804	11.97
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	684	10.20
原 行範	東京都品川区	661	9.85
Dエンジン株式会社	東京都港区西新橋一丁目18番6号	242	3.61
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口9)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	187	2.78
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	125	1.86
フィックスターズ従業員持株会	東京都品川区大崎一丁目11番1号	118	1.76
株式会社SBI証券	東京都港区六本木一丁目6番1号	110	1.64
田村 陽介	東京都品川区	100	1.48
蜂須賀 利幸	横浜市都筑区	100	1.48
株式会社東芝	東京都港区芝浦一丁目1番1号	100	1.48
計	-	4,052	60.38

(注) 1. 平成29年1月10日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において、三井住友信託銀行株式会社及びその共同保有者である三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社、日興アセットマネジメント株式会社、Sumitomo Mitsui Trust (Hong Kong) Limited (三井住友信託(香港)有限公司)が平成28年12月30日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。  
なお、その大量保有報告書の内容は次のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数(総数) (株・口)	株券等保有割合(%)
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	200,200	2.98
三井住友トラスト・アセット マネジメント株式会社	東京都港区芝三丁目33番1号	105,400	1.57
日興アセットマネジメント株 式会社	東京都港区赤坂九丁目7番1号	40,400	0.60
Sumitomo Mitsui Trust (Hong Kong) Limited (三井 住友信託(香港)有限公司)	Suites 2506-9, AIA Central, 1 Connaught Road, Central, Hong Kong	10,800	0.16

2. 平成29年1月11日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において、アセットマネジメントOne株式会社が平成28年12月30日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。なお、その大量保有報告書の内容は次のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数（総数） （株・口）	株券等保有割合（％）
アセットマネジメントOne株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号	338,100	5.04

3. 平成29年3月9日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、レオス・キャピタルワークス株式会社が平成29年3月3日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その大量保有報告書の変更報告書の内容は次のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数（総数） （株・口）	株券等保有割合（％）
レオス・キャピタルワークス株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目11番1号	517,400	7.71

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年3月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	-	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 6,710,500	67,105	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 1,500	-	-
発行済株式総数	6,712,000	-	-
総株主の議決権	-	67,105	-

【自己株式等】

平成29年3月31日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有株 式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成29年1月1日から平成29年3月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年10月1日から平成29年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,198,653	1,147,937
売掛金	755,736	782,197
電子記録債権	149,867	238,142
商品及び製品	168,560	141,281
仕掛品	22,628	33,938
原材料	26,193	-
繰延税金資産	51,397	39,966
その他	16,832	14,031
流動資産合計	2,389,870	2,397,496
固定資産		
有形固定資産	25,571	37,178
無形固定資産		
その他	17,657	23,274
無形固定資産合計	17,657	23,274
投資その他の資産		
投資有価証券	77,329	127,456
その他	93,854	90,769
投資その他の資産合計	171,183	218,226
固定資産合計	214,412	278,679
資産合計	2,604,283	2,676,175
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	110,435	116,774
1年内償還予定の社債	10,000	-
未払法人税等	104,766	103,087
賞与引当金	57,765	28,563
その他	148,764	87,347
流動負債合計	431,732	335,772
固定負債		
繰延税金負債	4,964	18,707
固定負債合計	4,964	18,707
負債合計	436,696	354,479

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	549,968	549,968
資本剰余金	455,968	455,968
利益剰余金	1,153,324	1,257,410
株主資本合計	2,159,261	2,263,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,032	65,431
為替換算調整勘定	26,066	11,878
その他の包括利益累計額合計	2,965	53,552
新株予約権	455	420
非支配株主持分	4,904	4,376
純資産合計	2,167,586	2,321,695
負債純資産合計	2,604,283	2,676,175

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	2,081,442	2,123,078
売上原価	1,317,593	1,344,754
売上総利益	763,848	778,324
販売費及び一般管理費	367,080	395,419
営業利益	396,768	382,905
営業外収益		
受取配当金	459	688
為替差益	1,621	-
その他	593	17
営業外収益合計	2,674	706
営業外費用		
支払利息	1,383	1,069
上場関連費用	-	19,674
為替差損	-	2,375
その他	512	90
営業外費用合計	1,896	23,209
経常利益	397,546	360,402
特別利益		
新株予約権戻入益	35	35
特別利益合計	35	35
特別損失		
関係会社株式評価損	-	2,784
特別損失合計	-	2,784
税金等調整前四半期純利益	397,581	357,653
法人税、住民税及び事業税	120,010	89,858
法人税等調整額	5,779	9,109
法人税等合計	125,789	98,967
四半期純利益	271,792	258,685
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,213	223
親会社株主に帰属する四半期純利益	270,578	258,461

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	271,792	258,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,023	36,398
為替換算調整勘定	9,033	14,188
その他の包括利益合計	7,009	50,586
四半期包括利益	264,783	309,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	263,569	309,048
非支配株主に係る四半期包括利益	1,213	223

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	397,581	357,653
減価償却費	11,650	13,106
賞与引当金の増減額(は減少)	10,602	29,202
受取利息及び受取配当金	535	695
支払利息	1,383	1,069
為替差損益(は益)	526	2,715
関係会社株式評価損	-	2,784
売上債権の増減額(は増加)	61,802	113,141
たな卸資産の増減額(は増加)	55,361	38,516
仕入債務の増減額(は減少)	131,514	6,339
未払金の増減額(は減少)	69,397	10,821
その他	24,748	41,209
小計	179,730	227,114
利息及び配当金の受取額	535	695
利息の支払額	1,383	1,069
法人税等の支払額	127,829	95,417
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,053	131,322
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	7,306	16,401
無形固定資産の取得による支出	1,942	9,799
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,249	26,201
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	20,000	-
社債の償還による支出	10,000	10,000
株式の発行による収入	34,500	-
非支配株主からの払込みによる収入	3,400	-
自己株式の取得による支出	178,200	-
自己株式の処分による収入	81,000	-
配当金の支払額	131,547	153,912
非支配株主への配当金の支払額	-	752
財務活動によるキャッシュ・フロー	180,847	164,664
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,685	8,827
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	145,728	50,715
現金及び現金同等物の期首残高	1,131,060	1,198,653
現金及び現金同等物の四半期末残高	985,331	1,147,937

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
研究開発費	91,873	75,341
役員報酬	76,251	79,824
賞与及び賞与引当金繰入額	1,566	1,443

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)
現金及び預金勘定	985,331千円	1,147,937千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	985,331	1,147,937

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年12月17日 定時株主総会	普通株式	132,480	20	平成27年9月30日	平成27年12月18日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年12月15日 定時株主総会	普通株式	154,376	23	平成28年9月30日	平成28年12月16日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	1,542,980	538,461	2,081,442
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	1,542,980	538,461	2,081,442
セグメント利益	368,065	28,702	396,768

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア ・サービス	ハードウェア 基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	1,508,298	614,780	2,123,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	1,508,298	614,780	2,123,078
セグメント利益	307,974	74,930	382,905

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	40円76銭	38円51銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	270,578	258,461
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	270,578	258,461
普通株式の期中平均株式数(株)	6,638,027	6,712,000
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	40円00銭	38円42銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	126,738	15,351
(うち新株予約権(株))	(126,738)	(15,351)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年5月12日

株式会社フィックスターズ  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 秋山 茂盛 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 植木 豊 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フィックスターズの平成28年10月1日から平成29年9月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年1月1日から平成29年3月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年10月1日から平成29年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フィックスターズ及び連結子会社の平成29年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。